



みきと
谷口 幹人 さん
川原町・81歳
◎瑞宝双光章
元公立中学校校長



けんじ
鶴長 研治 さん
深海町・82歳
◎瑞宝双光章
元公立小学校校長



のぶお
平井 信雄 さん
東浜町・64歳
◎瑞宝単光章
元天草市消防団副団長



かつとし
小林 勝利 さん
川原新町・72歳
◎瑞宝双光章
元熊本県警部



よしみつ
浦田 義光 さん
牛深町・70歳
◎瑞宝単光章
元天草消防組合消防司令



きよみ
野口 清見 さん
久玉町・70歳
◎瑞宝単光章
元天草消防組合消防司令

春の叙勲と危険業務従事者叙勲が発表され、市内から6人が受章されました。おめでとうございました。

受章おめでとうございます —春の叙勲、危険業務従事者叙勲—

※写真下は氏名、住所、年齢、受章種別、主要経歴。受章種別の◎は春の叙勲、◎は危険業務従事者叙勲。

栖本町福祉事業推進プロジェクト

栖本

安全で安心して暮らせるまちを目ざして

栖本地区振興会では、子どもや高齢者など、地区住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めるため、今年度から「栖本町福祉事業推進プロジェクト」に取り組んでいます。7月7日には、天草東地域包括支援センターや市高齢者支援センター、民生委員児童委員などの福祉関係者10人が参加して、初会合を市栖本支所で開催。会合では、各機関の連携強化を確認したほか、不安を抱える高齢者の支援などについて、活発な意見が交わされました。



▲活発な意見を交わす参加者

牛深ハイヤ節全国大会

牛深

響きわたるハイヤ節の歌声

6月25・26日、牛深ハイヤ節の唄を競う「第11回牛深ハイヤ節全国大会」が牛深総合センターで開かれ、全国から107人が出場しました。同大会は、年代ごとに5つの部門を設けて予選・決勝（ジュニアの部は決勝のみ）を行い、ジュニアの部を除く各部門の優勝者で総合グランプリを競うもの。栄えある総合グランプリを手にしたのは、高年の部に出場した地元・魚貴町の福本君子さん。福本さんは、「夢のようです」と涙を流しながら喜んでいました。



▲熱唱する総合グランプリの福本さん

社会を明るくする運動・教育力活性化推進大会

あきらめずに前に進んで

7月10日、「第61回社会を明るくする運動推進大会・天草市教育力活性化推進大会」が天草市民センターホールで開かれました。大会では、同運動を啓発する作文・標語入賞者の表彰や事例発表のほか、俳優の宇梶剛士さんが「転んだら、どう起きる？」と題し講演。「夢や希望を持って、あきらめずに前に進んでいくしかない」と、荒れていた少年時代から立ち直り俳優になった経緯などを力強く語り、約750人の来場者は熱心に聞き入っていました。



▲「自分の人生の主役は自分」と語る宇梶さん

高浜虫追い祭り

天草

水稻の豊作を祈願

6月26日、高浜地区で害虫を追い払い水稻の豊作を祈願する「虫追い祭り」が開催されました。この祭りは、同地区では200年以上前から行われており、一時期途絶えたものの約30年前に復活。現在は、高浜地区振興会の主催で実施しています。この日は、同地区振興会の役員や農業関係者など35人が参加。ほら貝や太鼓、鐘の音色とともに5色の旗をたなびかせながら地区内を練り歩いた後、高浜川で旗を洗い流し、豊作を祈願しました。



▲地区内を練り歩く虫追いの行列



▲大浦地区振興会・津崎勝志会長（右端）の話聞く浦島知事

くまもと夢トーク

県知事と夢を語り合う

6月29日、県主催で「くまもと夢トーク」が開かれ、浦島郁夫・熊本県知事が本市を訪れました。この日知事は、天草のオリジナルブランド“天草謹製”に認定されている菓子製造工場を訪れ、製造者などと意見交換を行ったほか、有明町の大浦公民館では天草市まちづくり協議会連絡会や大浦地区振興会、(農)宮地岳営農組合を交えて意見交換を実施。活発な意見が交わされる中、知事は「天草の発展なくして熊本の発展はないと考えている」と話されました。



▲熱心に取り組む児童たち

富津小学校の児童が杉ようかんづくり

河浦

地元伝承の味を学ぶ

6月23日、富津小学校の3・4年生4人が、江戸時代から地元で伝わる「杉ようかん」づくりを体験しました。杉ようかんは、あんこを薄いうち米の生地で作るんだ和菓子で、杉の葉が添えられているのが特徴。この日は、地元の製造・販売所“南風屋”を訪れ、同所で働く人たちから由来や作り方を教わった後、杉ようかんづくりを体験。児童たちは、「生地を切るのが難しい」「早く食べたい」と話しながら、ていねいな手つきで取り組んでいました。